

## 林陸雄教授の実践神学を見届けて

それは私が2000年に任期10年のバリプロテスタント教会常務理事会事務局長兼開発協力事業部事務長になったときであるから、林陸雄教授と知りあってそう長いわけではない。しかしながら、この間のおつきあいのなかで、私は心の底から林教授の生きざまに心動かされ続けている。私の内面に強い印象を焼きつけているのは、林教授が神を知り、個性豊かで、慈愛に満ちた偉大な教師だということである。

神を知る一人の偉大な教師としての林教授は、あらゆる機会に神と出会うことに全存在をかけておられる。林教授の神学はたいへん実践的であり、またとても現実に適応したものである。つまり、実生活から遊離していない。林教授の神学は、人間社会にふりかかる現実の諸問題との生き生きとした対話の中から生まれたものである。林教授は、私たちのコミュニティの中に生じるさまざまな問題につねに積極的に対処される。そのときの力強さはしばしば人々を驚嘆せしめる。

同じように明らかなことは、実生活のなかで急速に変転する諸状況に対処する中で、林教授は自己形成への動機付けと、自己が属し相互関係を結んでいるコミュニティの形成への動機付けを有しておられる。このことは、かくも多くの人々にとってかくも大きい恩恵が注がれることを意味する。林教授は、アジアの兄弟姉妹に恩恵を与えるに際して、集団・宗教・人種の境界を超えた道のりを歩み、相互関係を結ばれるのである。それは悲喜こもごもの少なからざる涙が林教授の頬を伝う過程であり関係である。このことだけで、すでに、バリプロテスタント教会とりわけウィディア・アシにとっては、我々は互いに愛し合うためにこの世に創造され使命を与えられているという自覚

を強めさせる、効果的な教育である。林教授の実践的な神学——すなわち我々すべての個性を包み込みつつ、諸問題に対処する神学——は、大家族ウィディア・アシ財団の自己認識を、全人間社会の安寧と福祉を目指すにおいて、神の使命に向かう目的ではなく、神の使命のための手段であるという方向に向かわせるのに貢献した。

個性豊かな一人の友人として林教授は、変化に翻弄される受動的な存在ではなく、まさにその反対で、変化を方向づける主導的役割を果たしておられる。変化を方向づける存在として林教授は堅忍不拔のパーソナリティの持ち主である。すなわち、何事であれ我々が直面する問題から逃げるのではなく、まさにその逆に、それを担いそれに対処されるのである。

個性豊かな一人の偉大な教師として林教授は、タロイモの葉の露のごとき存在ではない。相互関係のなかで、ぶれることなく、堅固で、自身を信じて、内面の声に背くことなく、そして、自己弁護されることはない。こうした性格は、林教授が理想主義者であることと同時に、その理想主義を実現するための根気の良さを備えておられることの証と言うべきである。林教授の理想主義は、彼の貢献から明らかなように、「安寧と福祉のなかの幸せな世界」の形成に参加するために地上に生み出されたものである。

慈悲に満ちた一人の偉大な教師として、林教授はすすんで、ウィディア・アシ財団に寄り添い、力を与えられた。ウィディア・アシに寄り添い力を与えるなかで林教授は、慈愛に開かれた窓という真心を尽くされた。林教授のウィディア・アシへの貢献は、ウィディア・アシをして、より一層慈愛に開かれた目と心をもつ機関になるよう促された。

林教授が退職されるにあたり、バリプロテスタント教会は、愛の家としてのウィディア・アシに力を与えられた林教授の愛情と大きな役割にたいし

て、高い評価と深い感謝をささげます。林教授、あなたのお名前は、バリプロテスタント教会にかぐわしい香りを与えつづけます。あなたのやさしい微笑みはバリ島を飾り続けるでしょう。私たちは、心に刻印されたあなたの愛情を父の家までともなっていくでしょう。退職後に平安がありますように、私たち一同お祈り申し上げます。神があなたにみ顔を向けられ、あなたに恵みと平安をもたらしますように。

デンパサル，2010年1月5日

バリプロテスタント教会

常務理事会事務局長

署名

イ・マデ・プリアナ牧師

(深見純生<sup>1</sup> 訳)

---

<sup>1</sup> 本学国際教養学部教授



バリ教会常務理事の方々と